



新年明けましておめでとうございます

# 支部社協通信

第18号

平成24年1月1日発行  
西条市社会福祉協議会  
地域福祉課



支部社協の皆様方におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
旧年中は格別なご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。支部社協の皆様方のご尽力によりまして、本会の地域福祉事業は市民の皆様方に大きな評価を得ており、感謝申し上げますところであります。  
さて、本年は辰年です。「辰」は『漢書』律曆志によると「振」(しん:「ふるう」「ととのう」の意味)で、草木の形が整った状態を表しているとされる言葉です。本会におきましても合併後7年を経過する中で、辰年にふさわしい各種事業の熟成を図るべく努力を傾注して参りますので、支部の皆様方におかれましても地域福祉事業につきまして積極的なご提言をご期待申し上げますところであります。  
本年も倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年 元旦 西条市社会福祉協議会長 塩出 皓治

## 支部社協紹介

今号では、道前平野の東部に位置し、中山川左岸の東はひうち灘、南は中山川を境に氷見・小松町と接する吉井支部を紹介します。

その昔、当地付近は吉田郷及び井出郷と呼ばれており、それぞれ一字ずつをとって「吉井」と名づけられたそうですが、当地域は国道196号線を境に高縄山側西に①石田②玉之江、ひうち灘側に③広江④今在家(いまざいけ)の4地域に大分されます。

約1300年前には石田地域に太政官道が通り、江戸時代には広江・今在家地域にこんびら参詣の道が通っていた等、古くから交通の要衝でした。現在でも、国道196号線、JR玉之江駅(昭和38年開業)、東予港と大阪南港を結ぶオレンジフェリー(昭和47年就航)等があり、陸・海上交通の拠点として多くの人が利便を受けています。

そして、昔から米作と麦作を中心とした農家が多い地域でしたが、1964年の新産業都市指定で埋め立てられた今在家地域の沿岸部には、鉄鋼業、電気機械業等の企業が進出し、東予地域の工業港として整備が進み、産業活動と地域の物流拠点となっています。

また、石田地域では伝統地場産業である「手すき和紙の生産」が盛んでしたが(最盛期には約50軒の紙すき場があった)現在は1軒のみとなり、奉書紙を中心に父祖から受け継いだ伝統を守り継いでいます。

当地域も全国的な傾向と同じく、農業の後継者不足や不況による企業の倒産・縮小等による人口減少という課題がありますが、市内外へのアクセスにも恵まれた地域で、農業と工業が融合している地域です。

### 吉井支部

支部長 岡本 千恵子



平成23年6月から、伊藤公俊氏の後任として重責を受け継ぎました。地域の皆様(吉井公民館主事として勤務したときの人脈が大きな宝です)、先輩や公民館のご協力をいただきながら、ふらふらと初心者マークの車を運転しているような感じです。

当地域は、古くからの先祖から受け継いだ住居、田畑、伝統を守り、農業が中心でおおらかで人情のあつい地域です。

しかし、高齢化率が約30%で若者の少ない地域となりました。このような時代、長く地域と関わりのある高齢者の皆様には、当地域の発展に向けて、若者たちのよき理解者・指導者となってほしいと考えています。

また、当支部社協では、皆様のご協力をいただきながら(1)敬老会(2)敬老の家事業(3)ふれあい・いきいきサロン事業(4)在宅介護者の会事業(5)青少年健全育成事業(6)地域住民交流事業(クロッケー・グランドゴルフ大会等)(7)ボランティア活動講習会等を中心に、地域福祉活動の推進に取り組んでいますが、更なる地域福祉の向上を目標に掲げ、これからも地域づくりに取り組みたいと思っています。

27支部位置図



- |      |        |        |       |
|------|--------|--------|-------|
| 1 玉津 | 8 橋    | 15 多賀  | 22 丹原 |
| 2 飯岡 | 9 氷見   | 16 壬生川 | 23 徳田 |
| 3 西条 | 10 加茂  | 17 国安  | 24 田野 |
| 4 神拝 | 11 大保木 | 18 吉岡  | 25 中川 |
| 5 大町 | 12 市之川 | 19 三芳  | 26 小松 |
| 6 神戸 | 13 周布  | 20 楠河  | 27 石根 |
| 7 禎瑞 | 14 吉井  | 21 庄内  |       |

## 吉井地区はこんなところ



### ■基本情報（平成23年9月現在）

人口 : 2,580人  
世帯数 : 1,035世帯  
自治会数 : 4  
施設等 : 東予南保育園・幼稚園、吉井小学校、東予南地域交流センター、児童デイサービスひまわり、壬生川カブトガニ標本室 等

### ■地場産業

農業（米、麦、アスパラガス、きゅうり、いちご、伊予柑等）、東予港（四国開発フェリー、住友重機械工業等） 等

### ■名所等

ひょうたん池（桜）、東宮神社、闇岡（くらみつ）神社、三保神社、五所神社、徳蔵寺、大智寺、正徳寺、大光寺 等

### ■伝統・行事等

トンカカはん、お灯祭（玉之江）、お大師講（今在家）、地まつり、とうとうさん、盆踊り、たのもさん、市民運動会、しめ縄づくり、公民館文化祭 等



## 自慢の支部事業

数ある地域行事の中でも、「夏祭り」は子どもたちにとって格別なものかもしれません。

大人になった現在でも、夜店の光を見たり、祭りに人が集う姿を見れば、心が躍り、懐かしくも楽しい気分となり、子どもの頃に楽しんだ夏祭りを思い出させてくれます。

今回は、吉井地区の夏祭り「吉井地区子どもサマーカーニバル」を紹介します。

- 1 事業名 吉井地区子どもサマーカーニバル
- 2 目的 青少年の健全育成、親睦、地域の無形文化財の伝承活動
- 3 場所 吉井小学校校庭
- 4 参加 地域住民
- 5 協力者 公民館、吉井小学校、愛護班、石田トンカカはん保存会、青少年健全育成協議会、ボランティア、支部社協 等

～吉井地区子どもサマーカーニバル～



毎年8月最初の土曜日の夜に、小学校の校庭にて「吉井地区子どもサマーカーニバル」が開催されています。

20年以上も続く本事業では、全国民俗芸能大会で優勝した経歴があり、無形文化財に指定されている「トンカカはん」等を皆で踊ります。小学校ではこの伝統芸能を受け継ごうと、上級生が新入生に踊りを指導し、運動会や地区盆踊り大会等でも、小さな手に扇子を持ち元気よく踊っています。

また、子どもたちの楽しみでもある「夜店」は、中学生以上の子どもや愛護班の父母等が中心となり運営しています。地域活動や愛護班活動から離れがちな中学生も、当日早くから店の準備や販売の中心となり、お店の運営や小さな子どもの面倒をみる等、本事業を支えています。フランクフルトやくじ引き、カキ氷等、工夫しながら、元気に切り盛りする中学生等の姿をみると、子どもの成長の喜びや頼もしさを感じます。

そして、当事業を一層華やかに彩る「手作り花火大会」も楽しみのひとつです。花火大会は約10年前に愛護班役員が家庭用の花火をベニヤ板に立てて実施したのがはじまりですが、現在も当時の役員等が安全面に考慮しながら、空き地で打ち上げ花火やナイアガラ滝等の花火をしてくれます。幼児や高齢者等も自宅近くで花火を観賞できると大変喜ばれています。

支部社協も人的・経済的支援をしていますが、ボランティアを中心にたくさんのご協力のおかげで本事業が開催されています。

地域交流を促進する契機として、また、子どもたちの心に残り、次世代にもつながるような地域に愛される「吉井地区子どもサマーカーニバル」であることを心から願っています。

～トンカカはん～



～夜店～



～手作り花火大会～



本年もよろしくお祝い申し上げます

社協事務局職員一同